

# 水稻生育情報 (No.3)

平成28年7月1日  
県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

気温は6月中旬まで平年より高く、6月下旬は平年よりもやや低くなりました。日照時間も、6月中旬までは平年より多く、6月下旬は平年より少なくなりました。

管内のコシヒカリの生育状況は下表のとおりで、草丈は平年並み～高く、茎数は地点によりばらつきがあり、葉色は平年並み～濃くなっています。

表1 水稻定点調査結果(6月30日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		幼穂長 mm	出穂予測日 (月/日)
					葉色版	SPAD値		
筑西市	5月1日	65	73.0	595	3.8	32.9	2.0	7/23
一本松	(5月2日)	(63)	(67.8)	(602)	(3.9)	(32.9)	(0.5)	
下妻市	5月1日	59	68.9	605	4.5	35.6	0	
加養	(5月2日)	(44)	(68.3)	(475)	(4.0)	(34.2)	(0.6)	
桜川市	5月9日	53	67.6	454	4.4	38.2	0	
元岩瀬	(5月13日)	(59)	(59.0)	(490)	(4.4)	(37.2)	0.0	
桜川市	5月4日	52	67.2	513	4.1	33.7	0	
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(66.8)	(452)	(4.1)	(36.0)	0.0	

( )内は平成23～27年(5カ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去3カ年の平均値  
注)出穂日は、今後の天候により前後する場合があります。

## 【今後の管理のポイント】

### • 中干し後の水管理～間断かん水で根の活力維持～

中干しを行った稲の根は、畑作物の根に似た形質となり、常時湛水で管理すると、根腐れなどが発生してしまいます。

間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力を維持することができます。

右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、田面を指で触れると湿り気を感じる程度です。

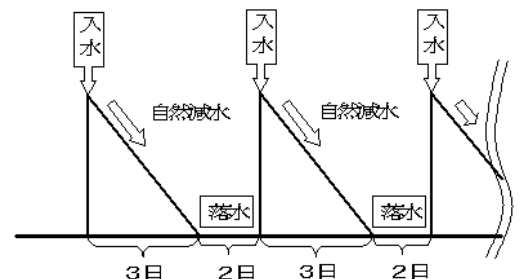


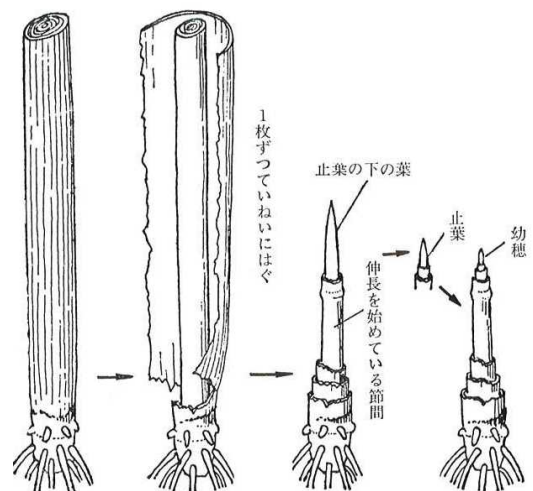
図1 間断かん水の一例

## 2 追肥時期について

「コシヒカリ」の適正な追肥時期は出穂15日～18日前となります。幼穂長が10mmになった時期が出穂18日前、40mmになった時期が出穂15日前となります。

幼穂を調べるには生育が中庸な株の主程を使用します。異なる株から5本程度の幼穂長を計測し平均値をとります。右図を参照に行ってください。

追肥量は窒素成分で1～2kg/10aです。ただし、草丈が80cm以上や葉色が4以上の時は倒伏の恐れがあるので、追肥は避けるようにしましょう。



幼穂長の調べ方